

競技審判上の注意事項

- 1 競技は、2019年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程及び、公認審判員規程により行います。
- 2 試合コール後5分以内にコートインしない選手は、棄権とみなします。
- 3 進行上タイムテーブル等の変更を行う事がありますので、進行係のアナウンスに注意をお願いします。
- 4 競技中の服装は、大会運営規程第4章第23条・第24条による。
但し、選手の背面表示は申し込みチーム名と背面表示を同一標記とします。
(大阪・大阪府のみ表示は不可とします)
- 5 試合が連続する時は試合と試合の間に最大20分以内の休憩時間を設けます。
- 6 サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から 1.15m以下でなければならない。
- 7 試合中、選手・監督・コーチ、並びに大会役員以外は、競技場に立ち入らないこととします。
また、監督・コーチは、マッチにふさわしい服装で臨むこととし、ジーンズ・ビーチスタイル・バミューダ・ショーツ・スリッパ・サンダル・裸足は禁止とします。
- 8 試合中、タオル・ラケット・ドリンク等は主審の横にあるカゴに入れて下さい。
この際、ドリンクは倒れてもこぼれない容器(スクイズボトル等)を使用して下さい。
- 9 プレーヤーが汗をかき、その汗を払い、散らしたりした場合、またはそれ以外の行為でコートやその周辺を汚している場合、主審はそのような行為は決して容認できるものではないことを留意させなければならない。必要ならば競技規則16条7項に沿って適切に対処します。
- 10 試合中、携帯電話が鳴った時は16条6項(4)の違反とみなし、16条7項を適用します。
- 11 審判の判定に対する「抗議」「異議」は認めません。
判定に対して疑問のある場合は、当該プレーヤーが「質問」することは認めます。
- 12 その他
大会運営規程19条については以下の通りとする
本会主催の第1種大会の個人戦においては組合せ決定後、エントリーの変更はできない。また、試合を棄権したものは、それより後の同一種目及び同大会にエントリーしている他の種目全てにおいて出場できない。ただし、ダブルスの場合、棄権したプレーヤーのパートナーは除くものとする。なお、本規程の運用に関し、棄権行為が本人または本人以外の者を有利にする目的でなく、正当な理由をもった棄権行為として競技役員長(レフェリー)が判断した場合、競技役員長(レフェリー)の判断により棄権後の他のエントリー種目に出場することを認めることがある。

一般上の注意事項

- 1 各自の持物は各自で責任をもって管理すること、
もし、紛失盗難等あっても大会本部は責任を負いません。
- 2 競技中の負傷等については、大会本部は責任を負いません。
ただし、大会保険には加入しています。
- 3 昼食時間は特に設けないので進行に支障のないよう各自とって下さい。
- 4 場内は土足厳禁です。
- 5 場内は禁煙です。喫煙は所定の場所にて行って下さい。
- 6 体育館には、ゴミ箱がありませんので放置しないで各自が必ず持ち帰って下さい。
- 7 来場には公共機関(電車・バス等)をご利用下さい。車での来場は厳禁です。